

立ち上がろう 生活に新しい彩りを



富士見地区地域づくり協議会のみなさん

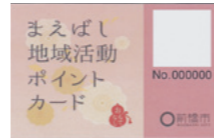
災害が起きた被災地でのボランティア活動が目ざされ、市民自らで行う「市民活動」の重要性が強く認識されるように。本市でもNPO法人やボランティア団体が、被災地でのボランティアやイベント運営、子育て支援などの社会貢献を目的とした市民活動を展開しています。

Mサポ

前橋プラザ元気21の3階にある市民活動支援センター。愛称はMサポ(☎027-210-2196)。

前橋で始める市民活動

本市には、市民活動支援センター(Mサポ)があり、市民活動やその助成金に関する情報発信、各種セミナーの開催による支援を行っています。さらに、活動を始めるきっかけづくりや活動をより充実させるための「まえばし地域活動ポイント制度」も。登録すると、Mサポ主催事業に参加したときにポイントが付与。貯まったポイントをクオカードやMサポ登録団体への奨励金に還元でき、新たな担い手をつくり出したり、活動の継続につなげたりできます。



支援でつながる市民活動

Mサポスタッフの狩野さんと大澤さん。活動に興味を持つ人や、新規の登録団体も増えてきましたが、活動の課題もあると言います。

「市民活動に多くの人が取り組んでいます。ですが、活動の新たな担い手がなかなか見つからない、担い手の高齢化が目立ってきた、情報発信の方法が分からないなどが今の課題です」

そこで、情報提供・相談コーナーの開設や地域活動ポイント制度、セミナーなどを実施。市民活動を支援することで、活動同士をつなぎ、活動を広げるコーディネートとして、市民活動を応援しています。



Mサポスタッフ
狩野 妙子(右)
大澤 直子(左)



まえばし農学舎
黛 若葉さん

つなく 交わる 広がる

Mサポで、助成金セミナーを開催。県社会福祉協議会・中越信一さんと県共同募金会・星野久子さんを講師に、助成金申請のポイントを学びます。対象は福祉分野のNPOや地域活動団体など、先着28人。本講座はまえばし地域活動ポイント対象講座です。

日時=11月16日(水)午後6時~9時
申し込み=11月10日(木)までにMサポ☎027-210-2196へ



助成金申請のこつ学ぶ



群馬県高校生会議
渡邊 吉世さん

活動のやりがい生活の彩りに

現在高校1年生の渡邊さんは、父の紹介で市民活動に参加するようになった。まちなかのお店紹介の地図を作る「楽食プロジェクト」などの活動に参加。「活動を通じて、今までとは違う視線でまちを見られるようになった」とやりがいを感じています。

「ただ、自分たちだけでは発信力が足りないなと感じているので、Mサポの支援はとても助かっています」と笑顔。

たくさんの市民の活動でまちは良くなり、自身の生活も豊かなものに。あなたも市民活動で新しい彩りを発見しませんか。



市民活動表彰の推薦を

表彰を受ける市民活動団体の推薦を受け付けます。対象は、Mサポ登録団体か市内で非営利・公益的な市民活動を行う団体、5団体(選考)です。推薦書は前橋プラザ元気21内Mサポなどで配布。本市ホームページからダウンロードもできます。11月30日(木)までに推薦書に記入し、Mサポへ直接持参してください。

活動の中に新しい気づきが